



2021年5月

- 今回のリリースでの新機能 (1 ページ)
- このリリースでの変更点 (1 ページ)
- 不具合 (2 ページ)

今回のリリースでの新機能

ダッシュボード

- [Map Service] : Cisco Spaces ダッシュボードから Cisco Spaces コネクタのスイッチを設定できるようになりました。[Setup] > [Wired Network] > [Add Switches] を選択して、新しい有線スイッチを追加し、既存の Cisco Spaces コネクタにマップします。詳細については、『[Cisco Spaces Connector Configuration Guide](#)』を参照してください。
- プロファイルベースの **Open Roaming** : Cisco Spaces ダッシュボードで、Cisco AireOS シリーズ、Cisco Catalyst シリーズ コントローラ、および Cisco Meraki ネットワーク用のプロファイルベースの OpenRoaming を設定できるようになりました。
- センサー : Cisco Spaces ダッシュボードからセンサーをオンボードし、これらのセンサーを OpenRoaming プロファイルにマッピングできるようになりました。
 - クレームセンサー : [Setup] > [Sensors] > [Claim Sensors] を選択します。
 - センサーを **OpenRoaming SSID** に接続 : [OpenRoaming] > [Sensors] を選択します。

このリリースでの変更点

ダッシュボード

- **タイトルの再設計** : Cisco Spaces ダッシュボードが拡張され、カウントの詳細を予測するアプリケーション用の追加のタイトルが表示されるようになりました。さらに、ライセンスベースの機能に関する詳細を提供するバナーが各タイトルに表示されます。

- **キャプティブポータル** : Cisco Spaces ダッシュボードの [Captive Portals] セクションから、データ キャプチャ フォーム フィールドと認証フィールドのカスタムラベルを設定できるようになりました。

キャプティブランタイム

キャプティブ ポータル ランタイムは、GUI でカスタムラベルをサポートするようになりました。これらのラベルは Cisco Spaces ダッシュボードで設定でき、これらのカスタムラベルはランタイム GUI に表示されます。

パートナー ダッシュボード

Cisco Spaces パートナーダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

- アプリの作成中または編集時に、[Push Channels] 構成がマスクされるようになりました。
- アプリの作成中に、Cisco OAuth URL フィールドに事前入力されます。パートナーは、これらのデフォルトの Cisco OAuth URL を使用するか、アプリのアクティベーションのために編集するかを選択できます。

不具合

不具合では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの不具合」と「未解決の不具合」では、このリリースの不具合を示します。

各不具合について、次の情報が提供されます。

- **識別子** : 各不具合には、一意の識別子 (ID) が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、*x* は任意の文字 (a ~ z) 、*N* は任意の数字 (0 ~ 9) です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center (TAC) エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- **説明** : 不具合が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

シスコバグ検索ツール

シスコバグ検索ツール (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の不具合

ここでは、Cisco Spaces のこのリリースにおける未解決の不具合を示します。

表 1: Cisco Spaces 未解決の不具合

不具合の識別子	不具合の説明
CSCvu98859	新しい構成を適用すると、[Button Click] データや [Movement] データなどのテレメトリが 18 時間以上にリセットされる
CSCvv16880	ゲートウェイの展開ワークフロー中に、タイミングの問題により、AP が「needs config mode (設定モードが必要)」として誤って分類されることがある

解決済みの不具合

Cisco Spaces のこのリリースには、修正された不具合はありません。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。